平成21年度パッケージ事業・ふるさと基金事業シンポジウム

資料③

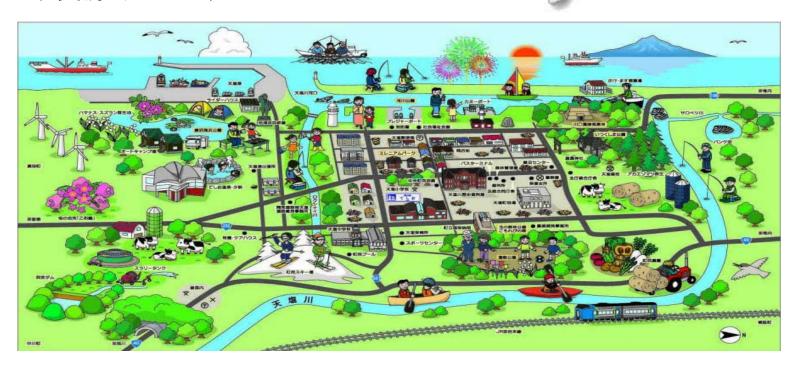
地域密着型雇用創出チャレンジプロジェクト (平成19年度~21年度)



1. 地域の概要

北海道天塩町

- 〇人 口 3,819人(20年10月)
- ○歴史や地域資源
- ・産業の変遷:木材(大正)→ニシン漁(昭和)→酪農(昭和・平成)
- ・地域資源:天塩川、しじみ



2. 地域の重点産業分野とその課題

○地域の取り組む重点分野

ア 農業分野(酪農・畜産業)

- ・酪農が振興され重要な基幹産業として成長したが、過酷な労働環境や農業資材の高騰などから 離農が進み、法人による営農等担い手不足の解消や優良な農地の維持・活用方策が求められる。
- ・平成19年度5月・12月に進出した大手肉牛農業生産法人の求める人材育成や確保が必要。

イ 漁業分野(水産加工品製造)

「しじみ」の減少や魚価の低迷から新たな加工品の開発など販路拡大に取り組む必要がある。

ウ 観光振興分野(特産品開発)

・地域間競争が激化し、中核的な温泉施設などの入り込みが減少していることから 豊富な地場産品の高付加価値化、販路拡大などを担う人材や多種多様な観光ニーズに 対応した人材育成に取り組む必要がある。

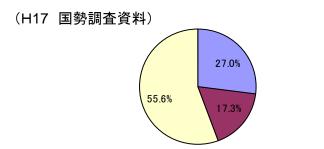
その他

・公共事業減少の影響による建設業の雇用悪化から、農業など新たな事業を手がける企業の出現と、そのノウハウを持った人材の育成確保を進める必要がある。

3. パッケージ事業/実現事業に取り組んだ背景

- 〇町内最大規模の酪農企業「天塩乳業」の廃業による雇用の場の減少
- 〇公共事業減少の影響による建設業の雇用悪化
- 〇町内に雇用の場が少なく、若者が域外へ流出

〇労働力人口		2,267人
〇就業者数		1,811人
第1次産業	27.0%	489人
第2次産業	17.3%	314人
第3次産業	55.6%	1,008人
〇就業者の産業別割合		
サービス業	31.5%	571人
農業	22.5%	408人
建設業	14.7%	266人
小売・飲食業	14.4%	261人
その他	16.8%	305人



□第一次産業 ■第二次産業 □第三次産業

有効求人倍率(常用):稚内ハローワーク

H16~18年度平均	H19	H20	H21(4~8月)
0.55	0.53	0.54	0.52

4.パッケージ事業の概要

- **○創造推進事業に取り組んでいる産業分野**ア農業分野 イ漁業分野 ウ観光振興分野
- ○事業の趣旨、目的
 - ・優良な農地を活用した酪農、大規模肉牛事業の規模拡大に必要な人材確保と育成
 - ・地域資源を活用した天塩ブランドを構築する人材の育成など

〇具体的事業内容

- ①雇用拡大メニュー(事業者向け)・・・・・1, 285千円
 - ・IT関連販売、マーケティングセミナー(25社参加)など インターネット販売の中核的人材育成
- ②人材育成メニュー(求職者向け)・・・・3,616千円
 - ・先進地畜産技術者派遣研修(12名受講)(19~20年度)など 先進地研修を通じた畜産技術者の育成から雇用創出
- ③就職促進メニュー(求職者向け)・・・・・2, 720千円
 - ・合同就職フォーラム(50人参加)(20年度) 酪農・畜産牧場の求職者の就職相談会
- 〇事業総予算(管理費含む)

平成19年度 3,819千円 平成20年度 10,878千円 平成21年度 10,878千円

5. 地域雇用創造実現事業の概要

- 〇事業に取り組んでいる産業分野 ア農業分野 イ漁業分野 ウ観光振興分野
- 〇具体的事業内容
 - ①地域ブランド商品を開発し販路開拓事業 しじみせんべい、かぼちゃ・さつまいもプリンなど
 - ②着地型の旅行商品や観光キャンペーン事業 クルージング・搾乳体験・イベントモニターツアー
 - ③企業間・産業間の連携促進事業
 - ■新たな飼料(TMR)開発(デントコーンサイレージ+乾燥牧草)
 - ・サンプル生産、100個(650kg/個) →モデル農家(30頭)にTMR給餌(約3ケ月)→乳量・乳質の変化
 - •TMR成分検査
 - •先進地研修

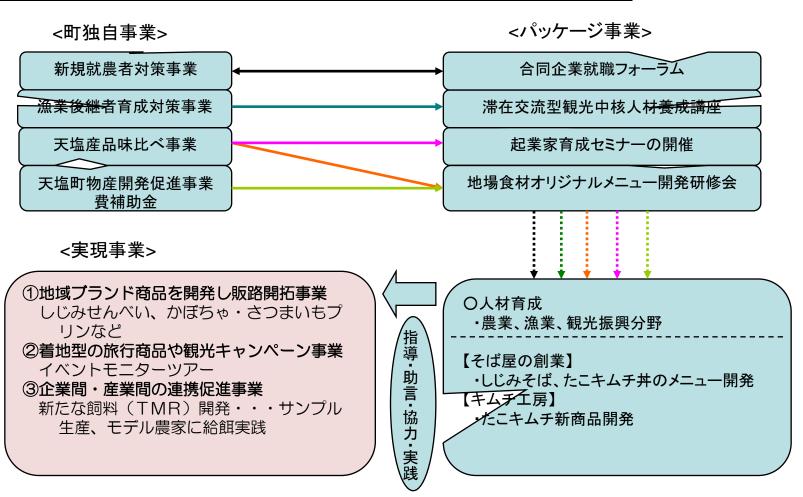
6. ふるさと基金事業の概要

事業名	事業内容	雇用者数	委託金額	委託先
地域資源を活用したてし お観光客誘致事業	〇温泉バス運行 〇温泉ファン会員募集 〇名物食の開発	2名	11,230千円	㈱天塩観光公社

○雇用者の声

パッケージ事業の支援で採用された職員などが中心となり新たに開発された「たこキムチ丼」や、話題性抜群の「チューチュープリン」等、地場産品を積極的に活用した名物食の開発(しじみしゅうまい、ホッキ貝の素焼き)やメニューの充実(お品書き会席料理コース)を行っています。また、リピーター客を獲得するため温泉ファン会員登録事業などを行い、情報提供(地域イベントの開催案内)を行っています。これらの努力の甲斐もあり、温泉利用者は上半期で昨年比3,221名増加しました。就職ができたことも大変感謝してますが、結果が出ていることも大変うれしく思います。これからも危機感・緊張感をもって、既存職員と協力しながら事業の推進に取り組んでいきたいと思います。

7. 雇用創出支援事業間の連携について



8. 事業展開上の工夫と問題点

《問題点(不安材料)》

- ・事業指標の達成・成果・・・3年間 50名の就職
- ・実施事業のメニューが多い・・・
- ・求職者や企業の応募・・・

《工夫》

- 求職者や企業への情報提供と情報収集
- ①隣近所の母さん方の情報・・・日常的に求職者の情報収集(人的ネットワークの活用、あらゆる機会・・・)
- ②町広報、チラシ、新聞、雑誌、インターネットなどあらゆる周知媒体の利用
- ③個人・各種団体・企業への個別案内
- ④講師や相談員(キャリアカウンセリング)の選定
- ⑤研修先の選定・・・畜産牧場、ニセコ、札幌・・・求職者や企業従事者の応募に合わせた研修期間の設定など
- ⑥季節労働者の認定事務・・・就職相談会の実施
- (7)専従的に事業推進にもっぱら従事する体制。・・・地域再生の切り札、重点プロジェクト
- ⑧優秀な事業推進員の採用
- ○反省・・・個人的感情
 - ・企業の求める人材より求職者の就職意欲を重視

9. パッケージ事業による具体的成果

〇パッケージ事業アウトプット(事業利用者・企業)

1 雇用拡大メニュー

事業	事業 個別事業名	19年度			20年度			21年度			3年度間合計		
番号		計画	実績	達成率	計画	実績	達成率	計画	実績	達成率	計画	実績	達成率
1	IT関連販売・マーケティングセミナー				15社	25社	167%	15社			30社	25社	83%
2	特産品販売促進研修派遣事業				6社	3社	50%	6社			12社	3社	25%
	合 計	•			21社	28社	133%	21社			42社	28社	67%

2 人材育成メニュー、就職促進メニュー

事業	事業 番号 個別事業名		19年度			20年度			21年度		3年度間合計		
番号	但加事未有	計画	実績	達成率	計画	実績	達成率	計画	実績	達成率	計画	実績	達成率
3	先進地畜産技術者派遣研修	3人	3人	100%	17人	9人	53%	17人			37人	12人	32%
4	地場食材オリジナルメニュー開発研修会	40人	59人	148%	40人	46人	115%	40人			120人	105人	88%
5	滞在交流型観光中核人材養成講座				18人	30人	167%	18人			36人	30人	83%
6	起業家育成セミナーの開催				25人	17人	68%	25人			50人	17人	34%
7	チーズ工房等コミュニティレストランアテン	ダント養	成講座		22人	29人	132%	22人			44人	29人	66%
8	合同企業就職フォーラムの開催				46人	50人	109%	46人			92人	50人	54%
	合 計	43人	62人	144%	168人	181人	108%	168人			379人	243人	64%

〇パッケージ事業アウトカム(就職者)

人材育成メニュー、就職促進メニュー

.lo ⊟ 19	7日次アーユ 、													
事			19年度			20年度			21年度			3年度間合計		
業		計画	実績	達成率	計画	実績	達成率	計画	実績	達成率	計画	実績	達成率	
3	先進地畜産技術者派遣研修	3人	3人	100%	5人	9人	180%	5人			13人	12人	92%	
4	地場食材オリジナルメニュー開発研修会	1人	2人	200%	2人	5人	250%	2人			5人	7人	140%	
5	滞在交流型観光中核人材養成講座				2人	2人	100%	2人			4人	2人	50%	
6	起業家育成セミナーの開催				2人	2人	100%	2人			4人	2人	50%	
7	チーズ工房等コミュニティレストランアテンダ	ント養成	講座		2人	2人	100%	2人			4人	2人	50%	
8	合同企業就職フォーラムの開催	6人	6人	100%	7人	10人	143%	7人			20人	16人	80%	
	合 計	10人	11人	110%	20人	30人	150%	20人			50人	41人	82%	

事業実施による成果

直接的な効果(事業利用者の就職・創業)

02年間で41人の雇用を創出

【酪農・肉牛事業】

・新たな進出、事業拡大→牧場スタッフを14名採用 (H2O年度)

【特産品開発と地元食材を活かした地場産業振興】

- ・観光イベント、調理スタッフを4名採用(H2O年度)
- ・特産品のしじみを活用したそば屋を新たに創業(併 せて事業利用者を採用)

波及的な効果

- ○当事業により育成した人材の活用により、
- ・平成19年度に肉牛肥育事業に進出し、現在、 約3,000頭の飼育を実施
- ・新商品の開発やホームページを活用した販路 広大を実施
 - ・観光イベントの企画により誘客を促進、など
 - → <u>地域経済の発展、更なる雇用拡大へ</u>
- 〇当事業の終了後も、独自に地域の関係者で専門 的な人材育成や創業支援などの実施を検討中

地域の声

協議会の声

○ パッケージ事業と関連する実現事業を実施することによって、 地域に波及的な雇用機会の創出や地域経済の発展が図られるなど 地域作りに画期的な制度です!

〇たこキムチ丼



事業所の声

- パッケージ事業による必要な能力を身につけた人材を雇い入れることは、新たな事業規模の拡大に取り組む近道です!
- パッケージ事業によりノウハウを習得した人材を雇い入れ、この労働者を中心に新たな飲食メニューや観光イベントの 開発に取り組むことができました!

求職者の声

- 当該研修を受講したおかげで未経験分野に就職できました。教育機関が少ない地域の求職者にとって、パッケージ事業は 有効な支援策です!
- 一当該研修を受講したおかげで現職に就職することができました。更に自己研鑽を積み、会社の規模拡大に役立ちたいです!

10. 今後の事業展開

〇新規就農者の支援対策

パッケージ事業と町独自事業の一体的な取組から、現在5名の新規就農希望者の支援対策

○畜産牧場規模拡大に伴う雇用対策

平成19年度に相次ぎ大規模肉牛牧場進出(安愚楽·宗谷岬牧場)などの規模拡大計画からの雇用支援対策

〇町内8店舗による新メニュー「たこキムチ丼」や「ツアー開発」の販路拡大などの支援

パッケージ事業からの雇用スタッフなどが中心となり開発した「たこキムチ丼」や「ツアー開発」などの 販路拡大やツーリズムのビジネス化支援

〇今後の取組等

昨年秋頃以降の急激な雇用失業情勢の悪化により、採用の手控え、人員削減等により求人数が大幅に減少していることから、21年度目標の達成が非常に厳しくなると判断している。特に小売、サービス、観光業等においては、観光客の激減により厳しい状況に追い込まれており、雇用創出が危機的となる分野と考えている。

しかしながら、農業分野等においては肉牛生産牧場の規模拡大計画があり、厳しい状況下において も期待の持てる分野であり、適時な中核的人材を育成することにより雇用創出の更なる契機としていき たい。

事業終了後においても厳しい状況が見込まれるが、地方だからこそ可能な地域一体となった取り組みを推進し、パッケージ事業実施成果を継続・発展できるよう最善を尽くしていきたい。